

在来ツケナ類(苔菜)の「カブレ菜」、「荒久田茎立菜」で播種後に低温処理を行うと収穫時期が早まる

福島県農業総合センター 作物園芸部
平成18年度農業総合センター試験成績概要

1 部門名

野菜 - ツケナ類 - 育苗、生育調節、作型・栽培型
分類コード 03-26-06161800

2 担当者

岡崎徹哉

3 要旨

県内の在来ツケナ類の「荒久田茎立菜」「カブレ菜」について、播種後に5℃で5日冷蔵後3℃に下げて25日冷蔵処理をすると、収穫を早めることができ、また5℃で30日冷蔵処理に比べて植付時の作業性が改善される。

- (1) 「荒久田茎立菜」「カブレ菜」の抽苔促進には、気温3~5℃で30日間が適する。
- (2) 「荒久田茎立菜」は、変温処理で出薹株率、摘心株率が高く、収穫が早くなる。
- (3) 「カブレ菜」は、播種後5℃で30日冷蔵処理で出薹は早まるものの株間でばらつきがあり、5℃で5日冷蔵後3℃に下げて25日冷蔵処理や3℃で30日冷蔵処理は年内の出薹率と摘心株率が高くなる。
- (4) 低温処理後の胚軸長は、処理温度が高いほど長く、処理温度を変えて低くすると短くなる。

4 その他の資料等

なし